

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-133	A-142	23-052	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
A systematic review and meta-analysis of the relationship between youth drinking, self-posting of alcohol use and other social media engagement (2012-21) 若年者における飲酒と SNS 利用等についての系統的レビュー			
執筆者			
Cheng B, Lim CCW, Rutherford BN, Huang S, Ashley DP, Johnson B, Chung J, Chan GCK, Coates JM, Gullo MJ, Connor JP.			
掲載誌			
Addiction. 2024 Jan;119(1):28-46. doi: 10.1111/add.16304.			
キーワード			PMID
若年者、飲酒、SNS、ソーシャルメディア			37751678
要旨			
目的: 若年者における飲酒と SNS やソーシャルメディア等の利用との関連を系統的レビューで明らかにする。			
方法: 若年者における飲酒と SNS やソーシャルメディア等の利用との関連に関する 2022 年 6 月までの公表論文を PubMed, Scopus, PsycINFO, Web of Science で検索し、24 歳以下に関する横断研究、前向き縦断研究、合計 30 研究(19386 人)についてランダム効果モデルで重みづけしたメタアナリシスを行った。			
結果: 飲酒に関するソーシャルメディアの利用は横断研究においても縦断研究においてもアルコール消費量と関連していた(標準化ベータ(95%信頼区間):横断研究:0.34(0.23-0.44) ,縦断研究; 0.13(0.11-0.15)。飲酒に関する自らの SNS への投稿は横断研究においてアルコール消費量との関連を認めた (標準化ベータ(95%信頼区間):横断研究:0.57(0.25-0.88))。縦断研究についてはメタアナリシスできなかったが、3/4 の研究で正の関連を認めた。			
結論: 飲酒に関する SNS やソーシャルメディア等の利用は若年者の飲酒と関連を示した。			